

## 名古屋港管理組合に 申し入れ

## ヒアリ対策を 万全に

## わしの・しもおく県議 県に要望



ヒアリが、6月27日に名古屋港鍋田ふ頭のコンテナで発見され、7月6日には春日井市内で発見されました。春日井での発見は国内で6例目ですが、内陸部での発見は初めてのことです。

愛知県議団は、名古屋市議団、弥富市議団とともに、7月5日、名古屋港管理組合に対してヒアリの水際で防ぐための緊急申し入れを行いました。

対応した職員からは、ペイト剤(毒エサ)や捕獲トラップを設置して水際対策を強化していることが話されるとともに県や国が責任を持って対処するようにしてほしいとの要望も寄せられました。

この申し入れには、もとむら衆院議員も参加しました。



県議団は7月18日には、大村知事に対してヒアリ対策についての緊急申し入れを行いました。

対応した環境部職員は、「定着しないように、在来種を殺してしまうことのないようにしながら国内に入り込まないようにしたい」と述べました。

申し入れ内容は以下の通りです。

- 1.ヒアリの侵入を水際で防ぐために、名古屋港管理組合と連携してコンテナターミナルはじめ関係箇所において、継続的に調査するとともに必要な駆除等への支援を行うこと
- 2.ヒアリ発見場所周辺をはじめ県民に向けて、ヒアリの見分け方や発見時の対応、刺された際の対処法など、正確で必要な情報発信に努めること。
- 3.調査・駆除等にあたる労働者の安全確保に努めること。
- 4.国・関係自治体・名古屋港管理組合等と必要な情報を共有し、総合的な対策を立てるとともに、国が防除を行うとした特定外来生物について定めた外来生物法に基づき、国に必要な対策を強く求めること。



## 大規模開発 最優先の要望書

県は、2018年度政府予算に対する予算要望をまとめ、大村知事らが各所に要請しました。

要請内容は、リニア中央新幹線の建設促進、2本目の滑走路をはじめとする中部国際空港の機能強化、自動運転システムの実証実験など次世代産業の推進、国家戦略特区の推進、アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区の推進など規制緩和を進めて大規模開発、大企業優先の要望が並んでいます。

県民福祉の向上のため、社会保障、子育て、若者に優先して税金を使うように国に要望することこそが求められています。

